

図書館の充実について

1. 現状と課題

(1) 施設概要

<本館>

開館時間 午前9時30分から午後7時まで

休館日 月曜日、図書整理日(月末最終火曜日)、特別整理期間、年末年始 など

現在地での開館 昭和62年7月

構造 鉄筋コンクリート2階建

敷地面積 6,582㎡

建築面積 1,741㎡

<移動図書館「やまなみ号」>

平成21年4月から現車両(4代目)にて、運行中。

【沿革】

昭和44年7月 名張市立図書館が開館(丸之内)

昭和47年12月 移動図書館「やまなみ号」(初代)運行開始

昭和62年7月 現在地(桜ヶ丘)へ移転、開館

平成18年10月 カウンター業務等の一部を民間委託開始

(2) 現状と課題

利用者数等の状況(資料1)

《利用課題》

①当館は、新型コロナウイルス感染症の影響で入館者数、貸出冊数などが大幅に減少した後、年ごとに増減を繰り返していますが、当該感染症拡大以前の水準には回復していません。この動向は、人口減少や生活様式の変化なども要因と考えられることから、従来の利用水準の回復のみを目指すのではなく、市の実情や利用者ニーズに応じた図書館サービスのあり方を見直し、充実させていくことが必要です。

②年齢別貸出冊数(資料2)では、全体の半数近くを60歳以上が占めており、利用が高齢者に偏る傾向が見られます。また、子どもへの貸出冊数、とりわけ就学前児童及び中学生の年代の減少が他の年齢層より大きくなっています。中学生の減少については、学校図書館の活用が進んでいる影響も考えられますが、公共図書館として若年層への働きかけは重要であり、乳幼児期からの切れ目のない読書活動支援の充実が課題です。

《施設管理の課題》

- ①建物、設備及び備品については、昭和62年の移転開館から相当の年数が経過し、経年劣化に伴う老朽化や不具合が顕在化しています。また、移動図書館「やまなみ号」の車両も運行開始から期間が経過しています。利用者の安全性及び利便性を確保するために、これらの計画的な修繕、更新等を進めていく必要があります。
- ②傾斜地を含む広い敷地については、樹木の剪定、落葉の除去、除草などの維持管理に労力を要している状況です。このため、敷地の特性を踏まえた適切な管理を行うとともに、維持管理にかかる負担の軽減を図る必要があります。

2. Wi-Fi 環境の状況

三重県立図書館をはじめ、県内の多くの公共図書館ではフリーWi-Fiが設置されていますが、当館では未設置です。設置導入には、工事費を含む初期費用が必要となることを事業者から確認しています。利用者からは、設置を求める意見がある一方で、維持費を含めた公費負担に慎重な意見もあることから、財源確保の課題も含めて、設置の是非について検討が必要です。

3. 利用方法の多様化

当館では、利用者の皆様がそれぞれの目的に合わせて快適に過ごせるよう、館内を用途に応じて区分し、多様な利用環境を提供しています(資料3)。

館内1階には、中央に気軽に立ち寄れる新聞雑誌コーナーをはじめ、小さなお子様連れの方が安心して過ごせるキッズルーム、靴を脱いでリラックスできるたたみコーナーなどを備えています。また、読書席に加え、利用希望時にカウンターで申し込む「受付制資料利用席(※)」や、コンセンートを備えた「パソコン利用者優先席」も設けています。

一方、2階の視聴覚室は、講座やおはなし大会等の催しに利用するほか、行事がない日には、テキスト等を持ち込み学習できる自習席(30席程度)として開放しています。

こうした席の運用やエリアごとの明確な区分は、以前、1階に自習利用者が集中して読書席の確保が難しくなり、利用者からの苦情や利用者同士のトラブルに発展した経緯を踏まえ、誰もが快適に利用できるよう利用目的の明確化を図るためのものです。

※令和8年7月末から名称を社会人専用席から受付制資料利用席に変更しています。

4. 気軽に行ける図書館に向けた取組

(1) 行事

当館では、幅広い世代に向けた多彩な行事を実施しています(資料4)。

① 定例行事の実施

毎週土曜日の「おはなし会」のほか、月1回の「おはなしの国『おはなばたけ』」、「赤ちゃんのためのおはなし会」などを継続して実施しました。これらの行事は、読み聞かせボランティア等の協力により運営しています。また、「絵ばなし新なばりの昔話」では、地域文化に触れる機会を提供するとともに、子どもから大人まで幅広い世代が参加できる場を設けています。

② 季節行事や特別イベントの開催

春と秋の「図書館まつり」、夏の「おはなし大会」、「子ども映画会」など、季節や対象に応じたイベントを開催しました。さらに、ボードゲーム体験会や出張おはなし会なども実施し、世代を問わず楽しめる場を提供した結果、参加者から好評を得ており、図書館が人々の交流の場としての役割も果たしています。

③ 自主運営による講座の開催

地域の歴史や文化を学ぶ場として、会員自主講座の「歴史読書講座」や「古文書研究講座」を開催しました。これらの講座は、名張藤堂家文書の解説をはじめ、地域の知識や文化の継承に寄与するとともに、参加者による主体的な運営を通じて、市民の自主的な活動を支える役割も担っています。

④ 社会的処方(※)を活用した取組

「図書館で健康づくりプロジェクト」を実施し、地域貢献活動団体やまちの保健室と連携した健康づくりイベントや相談会を開催しました。さらに、関連事業として「演じることから認知症を考える」ワークショップや「図書館がつなぐまちの健康と人の輪」を実施しました。これらのイベントは、図書館を社会的処方の入口として活用する取組であり、新たな図書館の役割を示すものとなりました。また「図書館がつなぐまちの健康と人の輪」の参加者アンケートでは、全員が「次回も参加したい」と回答するなど、満足度の高い行事となりました。※社会的処方とは、医療的な処置ではなく、当事者や相談者など支援を必要とする人を地域の活動や人々につなげることで、生活を支援し、健康や生活の質の向上を目指す取組です。

(2) 特集展示

当館では、本や情報に触れる機会を増やすことを目指し、年間を通じて一般書及び児童書の特集展示を実施しています。令和7年度は、一般向け32テーマ、延べ3,520冊、児童向け29テーマ、延べ2,820冊の展示を行いました。(資料5)

①多様なテーマによる展示の実施

一般向けでは、文学、健康、地域、生活実用、時事的課題など幅広い分野を、児童向けでは、季節行事、読書推進、学習支援など、子どもの関心や成長に応じたテーマを設定し、展示を行いました。

②社会的課題や生活に身近な情報の発信

「戦争と平和」、「認知症啓発月間」、「里親制度」、「がんを知ろう、相談しよう」、「選挙で、政治はどう変わる？」など、社会的関心の高いテーマを取り上げ、市民への情報発信に努めています。

③児童の読書活動や学習の支援

児童向けでは、「夏休みの読書」、「読書感想文おたすけセット」、「調べものおたすけセット」、「夏休み宿題応援コーナー」などを実施し、子どもの読書活動や学習を支援しました。あわせて、季節や行事に応じた展示により、来館のきっかけづくりにもつなげています。

(3)移動図書館「やまなみ号」

移動図書館は、市内全域に図書館サービスを提供し、児童や高齢者など来館が困難な方の読書機会を確保するため、巡回日程表に基づき月2回定期的に巡回しています。車両には、小説、実用書、児童書、絵本、紙芝居など約3,000冊を積載し、利用者のリクエストに応じた図書の貸出しにも対応しています。

巡回駐車場所は市民センター、学校、こども園（保育園）、集会所等の36か所となっており、利用状況に応じて積載図書を入れ替え、地域のニーズに即したサービスを提供しています。

(4)読書活動

当館では、「第四次名張市子ども読書活動推進計画」に基づき、児童書の充実や子ども向けの催しや、学校支援の取組を推進しており、地域の読書活動を支えるため、関係機関と連携して多様な読書支援に取り組んでいます。

具体的には、教育センターと共催で子どもたちの読書習慣を育む「ジュニア司書養成講座」を開催するほか、「なばりふれあい読書コンクール」を通じて読書による感動を分かち合い、読書文化の裾野を広げる取組みもしています。

また、地域の歴史資料等を公開するデジタルアーカイブ「おきつも」を整備し、市民の誰もが地域の歴史や文化に触れられる学びの基盤づくりを進めています。このアーカイブは、学校における「ふるさと学習」などを通じて郷土への愛着を育む一助となっており、サイトのアクセス数も増加傾向にあります。

さらに、中高生の職場体験や教職員の社会体験研修の受け入れ、学校からの施設訪問や図書館職員による学校訪問などを通じて、学校との連携も深めています。

これらの活動を通じて、図書館が地域の「読書」と「学び」の拠点として機能し、市民が本や地域の情報に親しむ多様な機会を提供しています。

以上のとおり、様々な取り組みを通じ、地域の皆様が「気軽に立ち寄れる」「本を手に取りたくなる」図書館づくりを進めています。

5. 図書館の10年後のビジョン

＜基本的な考え方＞

社会環境の変化に対応し、市民の読書活動や学びを支えるとともに、人と情報、人と人がつながる交流の拠点としての役割も果たしていくことを基本的な考え方とします。これまで積み重ねてきた取組を基盤とし、市の実情に応じて新たな工夫を重ねてまいります。

＜取組の方向＞

来館者へのサービス充実に加え、移動図書館の活用や学校訪問、関係機関との連携事業といった活動を積極的に展開します。これにより、市民が気軽に本と出会える場を提供するとともに、地域における人と情報、人と人がつながる交流の場を創り出し、図書館サービスを着実に継続していきます。